

第9回各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和3年12月7日（火）午前9時～
 場 所 各務原市役所 産業文化センター2階第3会議室
 出席委員 鈴木壯委員長、三井栄副委員長、横山浩之委員、三村武俊委員、
 川上進委員、小澤次郎委員、田中峰生委員、今尾謙二委員（途中退席）、
 永田美帆委員、苅谷道宏委員

1. 委員長挨拶

2. 議事

- ①視察結果について（追加分）
- ②体育館の平面計画について
- ③敷地の選定と施設配置方針について

議事録（要旨）

議事 ①視察結果について（追加分）

資料1 事例視察の結果より参考となるポイント（追加実施分）

事務局説明	
・追加で実施した事例視察の結果から、施設の概要及び参考となるポイントを説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員	福井県営体育館を視察して、県の体育館と市の体育館ではレベルが違ふと感じた。福井県営体育館は県大会での利用が主となっていた。 案内表示について、壁に絵文字で表示されている箇所が多く、壁の前まで行かないと分からないため、分かりづらいと感じた。 手動式の観覧席には非常に感心した。
委員	福井県営体育館は、市営の施設とは運営方針が異なるように感じた。各務原市の新総合体育館は、市民利用を中心とした、誰でも気軽に利用できる運営としたい。 施設については、可動席が手動で簡単に引き出せるようになっており、費用面も考えると自動よりも良いのではないかと感じた。各務原市でも、可動席が設置できれば施設のアピールに繋がると考える。また、子どもの遊具について、各務原市でも良いものを設置できれば、子どもやその親が集まり、施設の稼働率が向上するのではないと思う。
委員	久留米アリーナと照葉積水ハウスアリーナは、見るスポーツという点からも立派な施設であり、うらやましいと感じた。市民が楽しめる施設とすることが最優先であり、見るスポーツを重視する上では可動席を設置した方が良いと考える。

	事業手法については、プロリーグを誘致する等、見るスポーツを充実させるには、民間活力が必要ではないかと考える。 施設内の配置については、障がい者の立場から、動線や福祉型トイレなどを配慮すべきと考える。また、さわやかアリーナの視察の際、キッズルームを実際に親子が使っている姿を見て、各務原市でも同様なものをつくりたいと強く感じた。
委員	スポーツをする人や見る人、施設運営者の観点などから、バランスよく考えていくことが必要である。可動席はできれば設置したいが、費用が掛かりすぎないようにしたい。また、防災・福祉の観点も加味して検討を進めていきたい。
委員	タラフレックスは、メンテナンスがしやすく良いと考える。初期費用が掛かるかもしれないが、メンテナンスがしやすいものを取り入れてほしい。 使用頻度を考慮して、可動席の仕組みを検討すべきである。 日中の稼働率を上げるためには、キッズルームや多目的室などについて、親子に使ってもらえるような利用方法の検討が必要である。
委員	視察を通して、大きい大会をメインに考えている体育館と市民利用をメインに考えている体育館に分かれていると感じた。例えば、サオリーナではメインアリーナはプロ利用、サブアリーナは市民利用を想定しているような印象であった。 各務原市の場合は、市民利用が主であると考えており、競技のラインについては、あらかじめ競技ごとに色分けして引いておいた方が良いと考える。市の大会を運営する際、ラインテープを引く作業が大変であり、前の晩から準備することもある。東海大会や興行等、大きな大会時はスタッフが多いため、他のラインを消してもらうことはそこまで大変ではないと考える。また、体育館使用料は、市民は半額としている体育館が多かったが、各務原市でも、市民は安く使えるように考えてほしい。 日中の稼働率の向上については、障がい者スポーツの推進など、各視察先でいろいろな発想があった。市民からいろいろなアイデアを募ると良いと思う。また、にぎわいを創出するために、キッズルームは良いものを整備したい。 体育館にとって砂は天敵となるため、土足と上足の境はしっかり決めたい。子どもはルールが守れない場合があるが、やり方次第で対応できると考える。
委員	福井県営体育館は、大きな大会をメインとした貸館的な施設であり、市のコンセプトとは異なると感じた。新しい施設の設備は工夫されているので、目移りしてしまうが、市のコンセプトは外してはいけないと考える。市民が利用し続けられる、持続可能な施設になると良い。

	教育の立場で考えると、近年、子どものスポーツ離れが起きていることから、今の子どもたちがスポーツの良さを味わえるような、頻繁に足を運んでもらえるような施設にしたい。 アリーナについて、すぐに競技が始められ、日常的に多くの人が利用している姿が良いと考える。福井県営体育館は立派な施設であったが、備品を利用者が設置しないといけない点やラインを引かないといけない点は、日常使いしにくいのではないかと感じた。 可動席については、金額面の問題があるが、設置したいと考える。また、キッズルームを設置することにより、普段からにぎわいが生まれるのではないかと考える。 スケートボード利用など、今の時代の流れも踏まえながら、日常的に人が集える、市民がスポーツを愛していけるような施設になれば良い。
委員	久留米アリーナ、照葉積水ハウスアリーナを視察して、各務原市にも魅力がある体育館が必要であると感じた。これらの体育館は少し贅沢に感じたが、カラフルなサイン表示など、今までの概念とは異なる体育館であった。 市民が気軽に利用できる施設とするなら、観覧席は下履きでも入れるようにすべきと考える。 可動席については、照葉積水ハウスアリーナではセミオート、福井県営体育館では手動式であったが、手動式でも短時間で設営できそうなため、手動式で問題ないと考える。また、福井県営体育館では、端の可動席はほとんど使わないと聞いたので、真ん中だけ設置できれば良い。 コートラインについては、たくさん引いてある方がいいのか、白でシンプルにした方がいいのか判断が難しいと考える。 各務原市の新総合体育館は、防災拠点の位置付けとする計画であるため、今後は防災機能に力を入れている施設を視察できると良い。
副委員長	にぎわい創出の観点から、屋外に遊具の設置やお洒落なカフェ・レストランなどの設置を検討することで、体育館の利用者だけではなく、付帯施設を目的に訪れる利用が増えると考え。また、これらの費用対効果を総合的に考えると、民間活力の導入も有効であると考え。計画に運営事業者の意見を反映させていくことが重要となる。
委員長	予算の都合はあるが、可能な範囲で視察先の良い機能を取り入れていたきたい。

議事 ②体育館の平面計画について

資料2 体育館の平面計画

今尾委員はご都合により、議事②以降はご退席された。

事務局説明	
・体育館の平面計画について、一定の基準で理想的な規模を確保することを前提とした A 案と、必要性の低い部屋を整理し現実論に近い規模とした B 案をそれぞれ説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員	キッズルームは、親子連れの人が利用することが想定されるため、B 案のように、多目的室に隣接している方が良いと考える。 選手更衣室は、年間の利用回数を考えると、選手のトイレやシャワーの問題がクリアできれば、B 案のように会議室と兼用でも良いと考える。また、今の総合体育館ではシャワーを使う人があまり見受けられないため、一般利用者向けのシャワーは立派なものにしくても良いと考える。
委員	B 案の選手更衣室として使う会議室は、プロの試合のことを考えると、ミーティングの際、相手チームに声が聞こえないよう、器具庫を挟んで両サイドに設置した方が良い。 放送室の隣の倉庫は、役員室に変えてはどうか。現総合体育館のように、放送室と役員室の中からアリーナの様子が見えるようにした方が大会の運営管理がしやすいと考える。
委員	選手更衣室について、サオリーナではあまり使用されていなさそうであったため、各務原市では会議室と兼用で良いと考える。 キッズルームは、外との繋がりを大切にしてほしい。また、親子連れで利用することを考えると、多目的室と隣接している方が良いと考える。
委員	観覧席について、可動席を設置した方が良いと考えるが、片側だけにし、もう片側は仮設席にして初期投資を抑える案も考えられる。仮設席は大会運営者が設置をサポートしてくれると思われる。大会運営者の意見も踏まえながら検討していきたい。 剣道や空手等の武道で多目的室を使用することを想定しているが、武道でも使うということが分かりにくいので、多目的室を例えば「武道場 2」などの名称にした方が良いのではないかと考える。 可能であれば、今後、大きな大会を誘致したいと考えている。選手が使えるような仕様の更衣室を整備し、選手が使用する際は有料としてはどうか。
委員	器具庫を挟んで両サイドに選手更衣室を設置することは、市民大会などで使用する際も、都合が良いと考える。 搬入口や備蓄倉庫の場所については、防災の観点においては重要になると考える。

	更衣室と研修室を兼用する案については、個人的には分けて使用したいと考える。 キッズルームについては、親の目が行き届くような工夫をしたい。
委員	市民利用が中心になることを考えると、選手更衣室やスタッフルームを専用で設けることはもったいなく、市民を対象にしたものに活用したい。また、キッズルームをもう少し広くし、遊具等を設置することで、にぎわい創出に繋がるのではないかと考える。
委員	B 案のイメージが良いと考える。人が集まれるような施設にしたい。また、キッズルームは、保護者が安心して子どもを預けられるようなスペースとしたい。
副委員長	B 案をベースに、各委員の意見を取り入れていただきたい。 この平面計画については、あくまでも仮の図面であり、今後変更されていくことが想定されるが、現段階で考えられる案を委員会としてつくっていければ良い。
委員長	次回までに、B 案を中心に修正していただきたい。

議事 ③敷地の選定と施設配置方針について

資料 3 候補地選定比較表

資料 4 計画地の状況

資料 5 敷地内の施設配置方針

事務局説明	
・ 候補地選定比較表について、前回の委員会での意見を踏まえ、修正・補足した結果を説明した。 ・ 計画地の状況（与条件、用途地域等）について説明した。 ・ 敷地内の施設配置方針について、基本計画方針や動線計画、空間構成計画を説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員	平面図について、PPFI 誘致スペースや防災スペースが考えられており、概ね良いと考える。 また、民家を避けて配置されている点は良い。
委員	動線について、新総合体育館には車で来ることが想定されるが、国道 21 号から北に入っていくと、JR の踏切（少年院踏切）が狭いので、渋滞してしまうのではないかと考える。車がうまく流れるように計画できれば良い。
委員	平面図は、全体的にはうまくまとめられていると感じる。 新総合体育館に近い駐車スペースについては、駐車台数を増やした方が良いのではないかと考える。現総合体育館の駐車スペースは 140 台程度となっているが、バドミントンや卓球等の利用者により、午前中には満

	車になっている印象がある。芝生広場ゾーンを減らして遊戯施設ゾーンを東にずらし、体育館の東端ぐらいまで駐車スペースを拡張できないか。
委員	駐車スペースについては前委員と同意見である。 修景池については、景観的には良いが、メンテナンスに負担が掛かることが想定されるため、本当に必要か検討する必要がある。 富山県の環水公園を訪れたことがあるが、スターバックスの前に水辺が広がっており、非常に雰囲気良く、多くの人が集まっている。PPFI 誘致スペースの前に池を考えるのであれば、富山県の事例を参考にすると良い。
委員	可能であれば大きな駐車スペースがほしい。 実現可能かどうかは分からないが、計画地内を通る道路を西側にずらすことができれば、周辺施設との一体感が生まれると考える。また、テニスコートや弓道場をつなぐ遊歩道があると、気軽にいろいろなスポーツを見ることができて良いと思う。
委員	利便性の観点から、体育館に近い駐車スペースは大きい方が良く考える。また、ウォーキングコースを設置してはどうか。 駐車場の有効活用について、例えば、大きな大会用の駐車場は、普段はスケートボードや3x3（バスケットボール）で利用できるようにしてはどうか。有料にしても利用者が集まると思う。また、新しいオリンピック競技をできるようにするとおもしろいのではないかと考える。
委員	敷地東側の南北道路について、国道21号から入り、下りになってスピードが出やすいため、駐車スペースへの出入りは工夫する必要がある。 駐車場の動線については、安全面の観点から、入口と出口の動線をしっかりと決めた方が良い。 体育館専用道路や廃道といった極端なやり方も検討できたら良い。 若い時にスケートボードをやっていたが、利用する場所がなかった経験がある。スケートボードの利用者に駐車場の一部を貸してはどうか。
副委員長	駐車スペースを一か所に固めた方が管理しやすいという点で、芝生広場ゾーンと駐車スペース（155台）を入れ替えることも考えられる。 新総合体育館の整備にあたっては、近隣住民の生活を守っていくことが重要である。プロリーグ等を開催する際に、なるべく渋滞が起きないような動線・配置を検討する必要がある。
委員長	個人的には、横断歩道橋が設置できれば、テニスコートとの移動が円滑になり良く考える。また、施設配置については、芝生広場ゾーンと駐車スペース入れ替えた方が遊びやすいのではないかと考える。 提示された平面図から、徐々に施設や外構に関するイメージが湧いてきたと感じる。次回の委員会に向けて、委員からの意見を踏まえ、事務局で修正を進めていただきたい。

3. その他

（事務局）次回の委員会については、1/18（火）9時から産業文化センター2階第3会議室にて実施する予定である。